

やまたらけ

YAMADARAKE

JUNE

No. 41

2010

文化財登録記念！ 栃原堰堤と砂防堰

皆さんは、栃原堰堤（とちはらえんてい）をご存知だろうか。今年1月に国の登録有形文化財の仲間入りをした砂防堰堤だ。

砂防堰堤とは、土砂の流出を防ぐために作られたダムのこと。早川町内でよく見かける、川をせき止めているコンクリート構造物である。栃原堰堤は杣木（はるき）川流域に残る一番古い堰堤で、昭和8年竣工の本堤、同11年竣工の副堤からなっている。その姿は、角瀬（すみせ）から七面山登山口のある羽衣までの途中、道路の右側に見ることが出来る。しかし、一見古びたコンクリート構造物でしかない。多くの人は、気にも留めずに横を通り過ぎていたのではないだろうか。

実際に栃原堰堤を眺めると、兩岸や川の岩盤と一体化した石貼りの壁という感じた。水が滝のようにこうこうと落ちて来る。石貼りのデコボコのおかげで、最近の、のっぺりしたコンクリートそのままの堰堤に比べれば、何となく味がある。そして、よく見れば、上部のふちが所々欠けている。長年土砂や水に洗われて、摩耗してしまっただけである。左手の高い所に掲げられた銘板は、縦書き。そんな所にも歴史を感じることができる。

工事が行われた昭和初期、シヨベルカーやブルドーザといった重機はまだなく、人の手ではほぼ全ての作業が進められた。人々の苦勞が詰まった堰堤なのである。

今回は、文化財に登録された記念に、栃原堰堤が作られた背景や、苦勞の多かった工事の様子を紹介する。（柴田彩子）

大暴れの「春木川」

栃原堰堤が設置されている春木川は、早川流域では雨畑川に次ぐ大きな支流である。

上流には七面山の大崩壊地「大ガレ」を抱え、糸魚川静岡構造線の関係で地質自体がもろく、その上急流なので、土砂の産出量・流出量が非常に多い。以前は流路が頻繁に変わる手の付けようがない暴れ川で、「キチゲー川」と呼ばれるほどだった。明治時代には数回の出水があり、土砂が堆積していたという。もともと人家はなく、山林と多少の農地があるだけだった。

そのような中、明治16年に内務省の技術指導者でお雇い外国人のH.L.R. ムルドルが、富士川流域の河川改修に関する意見書を提出。そこには、



かつての角瀬集落の様子。今は小学校や旅館が建ち並ぶ、早川の中でも活気のある集落だが、当時は田んぼが広がり、家は数軒しかなかった。

富士川支流における砂防の重要性が説かれていた。

明治40年代に、全国各地で大水害があったこともあり、全国的な計画に則って富士川流域の砂防事業が本格的に始まった。そして、春木川で最初に作られたのが栃原堰堤であった。

栃原堰堤、大解剖！

栃原堰堤は、「練り石積み構造による重力式粗石コンクリート造」（下記参照）という形式で作られている。

表面の石積み（石貼り）は、水や土砂からコンクリートを保護する役目がある。そのため、長年の使用で、所々補修されていたり、石が剥がれ落ちたりしている。それでも補修は部分的で、竣工当時の石積みも残されている。



本堰堤の左上には、プレートが。読みづらいが「栃原堰堤 昭和八年竣工」と彫ってある。

「練り石積み構造による重力式粗石コンクリート造」とは

「練り石積み」とは、石積み（この場合はコンクリート）で固めてあるという意味で、「重力式」というのは、堰堤自体の重さで土砂や水の重さに耐えているという意味。「粗石コンクリート」というのは、大きい石（粗石）を混ぜてあるコンクリートのことで、当時はこれが一般的だった。



いずれこのプレートが、堰堤のどこかにつくはず。

本堰堤（上段）

昭和7年9月着工、昭和8年3月竣工
高さ 10m、幅 60m



副堰堤（下段）

昭和10年12月着工、昭和11年7月竣工
高さ 4m、幅 54m

早川町 HOT ニュース

全館きれいに。食事できます。 草塩温泉がリニューアルオープン！

早川で最も古い町営温泉「草塩温泉」が、4月14日にリニューアルオープンいたしました！建物も塗り替えられ、休憩室、脱衣所も明るくなりました。ロビーには、マッサージ機も設置され、大満足間違いなし。

そして、5月から食堂もオープン。東京から移住されたすし職人が厨房を仕切りますので、味も折り紙付きです！

入浴：平 日／11：00～20：00（火曜定休）

土日祝／10：00～20：00

料金：1回入浴／大人500円、小人200円

休憩（4時間以内）／大人1,150円、小人500円

休憩（1日）／大人1,500円、小人500円

食事：全日 11：30～14：00、16：00～18：00（火曜定休）



問い合わせ先
「町営 草塩温泉」
TEL. 0556-45-2260

早川の特産品、農産物をネット販売 早川旬の直送便 web サイト開設！

やまだらけ編集部がある NPO 法人日本上流文化圏研究所では、この度、早川旬の直送便のホームページを開設しました。早川町の旬の特産物や特産品、芸術家や作家さんのクラフト類等が掲載されており、ネット上で購入する事ができます。

これまでに「やまだらけ」で紹介した商品も掲載されていますが、ネットならいつでも手軽に注文が可能です。ぜひ、ご活用下さい。もちろん、会員割引も適用されます！



URL : <http://shop.joryuken.net/>

問い合わせ先

「NPO 法人日本上流文化圏研究所」

TEL. 0556-45-2160 FAX. 0556-45-2268

千須和主導会のブルーベリー農園で 摘み取り体験、今年も始まります！

6/18-7/4

今回、旬の直送便でご紹介した千須和主導会のブルーベリー。実は、畑で摘み取り体験もやっているのです。なんと 40 分 700 円で、食べ放題＋お土産付き！

早川町にお越しの際は、ぜひお訪ねください。

期間／7月1日～9月下旬（休みなし）

時間／9：00～16：00

価格／大人 700 円、小人 300 円（小学生まで）

内容／40 分食べ放題、100g のお土産付き



問い合わせ・申し込み先
「千須和主導会（代表：望月）」
TEL. 0556-45-2572



豪華賞品？が当たる やまだらけクイズ！

19

問：早川町で最大の規模を誇る砂防ダムは、雨畑にある稲又第三ダムですが、その高さは何メートルあるでしょう。

答：① 30m ② 40m ③ 50m

正解者の中から抽選で2名の方に、「ワインゼリー恋紫」をプレゼントします！

前回のクイズの正解は、1の「鳥を脅かすのカカシ」でした。タイヤが目に見えるようですね。抽選の結果、山口さん（品川区）、斎藤進さん（品川区）、北原哲夫さん（茅野市）の3名が当選しました。おめでとうございます！



浜田屋商店

電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園



ご予約・お問い合わせ

TEL/0556-48-2621

<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>



生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

パソコン、PCソフト、NTT 販売代理店、
プリンター、コピー機、OA サプライ

オフィス事務機(有)

〒409-3244

山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077

TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

霊峰七面山の登山口であなただの旅を支える

株式会社 俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社 俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川町砂利協同組合

代表 井上聡一郎
山梨県南巨摩郡身延町栗倉 761
電話 05566-2-5810

富士川流域で明治末から昭和初期に作られた砂防施設はいくつもあるが、土石流などの影響で補修・改修が行われ、当初の姿をとどめていないものが多い。その中で、栃原堰堤は竣工当時の状態が比較的良好な状態で保存されている。

デザインの面では特筆すべき点はないものの、石を詰めたコンクリートの外側を石積みが覆うという工法は、当時の技術を示すものとして歴史的に貴重である。

砂防唄に織り込まれた砂防工事の様子

望月けさ代さんは現在93歳。栃原堰堤の建設工事に作業員として関わった、自称おそらく唯一の生き証人。

「昔はほとんど手（作業）だものね。」と、苦勞を語る。けさ代さんが工事に行っていたのは、赤沢に住んでいた16、17歳の娘時代の話だ。地下足袋に長い靴下、腰巻きをして、「ちっぱしり（尻はしり）」という出で立ちで作業に行っていたそうだ。

けさ代さんから、「砂防唄」という数え歌を教えてもらった。当時、みんなよく歌ったそうだ。作者は分からないが、内務省の人ではないかという

望月けさ代さん（93歳、本村在住）
当時の様子を今でもよく覚えて
いる。砂防唄を聞かせていただ
いたが、なかなかの美声。

当時の様子を、歌詞を元に紐解いてみたい。

「人より早よ寝て早よ起きて」
「暗い夜道を急ぎ行く」

「みんな朝早くから仕事に行っただよ。」そのため、作業員は、朝、暗いうちに家を出て、提灯を下げて歩いて来たという。

都川や馬場（硯島）、遠くは新倉（三里）から現場に通う人もいたという。「容易じゃなかっただよ。皆、足で（＝歩いて）来ただよ。」

「命令下す天野さん」

「天野さん」とは監督の名前。栃原堰堤は内務省の直轄工事で作られたので、現場の監督も内務省の職員だった。

「四方に分かれて稼ぎいく」

工事の作業は、いろいろとある。



コンクリートの材料となる
ガラス（砂利）や
砂などの運搬、石の運搬、コンクリ
練り、中つつき（流し込んだコンク
リートを、木や金属の棒でつついて
空気を抜く作業）など。石積みの作
業は、専門の職人が行ったそうだ。

工事に使った砂利や石は、現場近くで採集され、運搬は、もっこと呼ばれる籠で行った。けさ代さん曰く「もっこ担ぐのが一番えなかった（＝大変だったねえ。）」

「砂防工事の賑やかさ」

当時、日本は昭和恐慌に見舞われ、農山村の疲弊が大きかった。そのため、就労確保策として時局匡救（ききょうきゆうく）事業と呼ばれる公共事業が行われた。栃原堰堤の工事

砂防唄

- ①ひとつとや 人より早よ寝て
早よ起きて砂防工事に行きま
しょね ささ行きましょね
- ②ふたつとや 吹き来る風を押
し分けて暗い夜道を急ぎ行く
ささ急ぎ行く
- ③みっつとや みんな揃ったそ
のうえで命令くだす天野さん
ささ天野さん
- ④よっつとや 良しき悪しき言
わずして四方に別れて稼ぎい
く ささ稼ぎいく
- ⑤いつつとや いつ来てみてモ
春木川 砂防工事の賑やかさ
ささ賑やかさ
- ⑥むっつとや 昔の砂防は影モ
ない今は文明コンクリート
ささコンクリート
- ⑦ななつとや 何の気もなく一
日を過ぎて終わりの鐘が鳴る
ささ鐘が鳴る
- ⑧やっつとや やつと過ぎした
一日を道具始末の倉庫かな
ささ倉庫かな
- ⑨ここのつとや ここで名札を
もらい受け家へ帰れるうれし
さよ ささ嬉しさよ
- ⑩とうとや とうとう帰って我
が家に夕飯済まして床の中
ささ床の中

※歌詞はけさ代さんの唄から書きおこしました。70年以上前の出来事ですので、本当に歌われていた歌詞と多少違うところがあるかもしれません。

もその一つであった。けさ代さんは、「そつちこつちから(働きに)来てたの。」と語る。

当時の内務省の資料にも、「(労働者は)主として事業区域たる本建村及びその隣村5箇村一部の住民にしてその出役状況良好なり」とあり、工事に関わった住民が多かったことを物語っている。

「昔の砂防は影もない」

ムルドルの意見書に基づいて、明治16年から同22年までの間に、春木川の、現在の仲島堰堤辺りに堰堤が築かれた。それが「昔の砂防」だ。

だがそれは、空積みという、石を固めずに積んだだけのものだった。そのため、後の出水で流されてしまい、栃原堰堤の工事の頃には「影もない」状態だった。その間50年弱。

栃原堰堤は、補修などを重ねているとはいえ、80年近く経った今日でもしっかりとそびえ、その機能を果たしている。まさしく「コンクリートは文明」だったのだ。

「終わりの鐘が鳴る」「名札をもらい受け」

鐘が終業を知らせる。帰る時には事務所で自分の名前が書かれた札

を受け取る。この名札を事務所に出すことが出勤の印だったそうだ。

このようにして、半年後、栃原堰堤は完成した。だが、上から滝のように落ちる水に川底が削られてしまい、堰堤が倒れる恐れが出て来た。そこで水の勢いを弱めるため、昭和10年に副堰堤が作られた。現在はさらにその上に嵩上げ工事が施されている。実に3段の堰堤である。

栃原堰堤がもたらしたもの

石貼り粗石コンクリート造の栃原堰堤が作られてから77年。砂防技術は飛躍的に進歩した。早川流域にも、大きなものから小さなものまで数多くの堰堤が入り、土砂災害で大きな被害が出ることはほとんどなくなった。

角瀬の集落や七面山登山口周辺は、昭和の初めまではほとんど何もなかった。やがて角瀬には水田が開かれ、今では南アルプスプラザや南小学校・南保育所があり、旅館や土産物屋が並び、賑やかな地域になっている。

これも、おそらく栃原堰堤とそれに続く一連の砂防事業の結果なのだろう。春木川には2010年5月現在35

基の砂防施設が設置されている。今の所、春木川に新たな堰堤の建設計画はないものの、土砂の生産源である山腹を固める工事は進められている。

近年は、河川環境の保全や、川が流れている先の砂浜の保全などに関心が寄せられるようになり、全国的には、ここ10年くらいでスリット式の堰堤が導入されてきている。こういったタイプでは、魚の遡上などもある程度は可能で、急激な土砂の流下を止める

一方で、あまり大きくない土砂は少しずつ流れるようになっていく。

だが残念なことに、昭和34年の災害で被害が大きく、その後の砂防計画の中で、比較的早い時期から堰堤が作られてきた早川流域では、スリット式の堰堤はほとんどない。またスリット式でも、従来の堰堤と比べて影響が少ないだけで、影響がないわけではない。それでも、人間生活の安全・便利や豊かさを守りながら、河川環境あるい



昭和初期の角瀬の様子。現在の早川南小学校付近を開墾する児童・生徒。

出典：「目で見えるはやかわの風景と歴史」早川町（平成8年）



大春木床固群

春木川上流では、七面山の大ガレから膨大な量の土砂が流出し続けている。大春木床固群も、そのほとんどが埋って姿が見えない。



現在の角瀬。早川南小学校、南アルプスプラザ、食堂、旅館、タクシー会社、薬屋、などが立ち並ぶ。

は生態系をも保全していくための努力は不可欠だ。それは、砂防の技術面での改良でもあるし、私たち一人ひとりが、どういった砂防事業がどれくらい必要なのか考え、選んでいくことでもあるはずだ。

「今は文明、コンクリート」と歌われた時代から、「コンクリートから人へ」という政策が示される時代へ。それだけの時間がしみ込んだ栃原堰堤を眺める。石貼りの堤体は苔むして、川の流れて自然に削られたくぼみから水が流れ落ちる。長い時間を経て、栃原堰堤はもはや春木川と共存しているように見える。

古い堰堤が教えてくれるのは、かつての技術や苦労だけでなく、砂防や暮らしと自然環境との今後なのではないかと思った。

早川旬の直送便

早川町の新しい特産品 「千須和主導会の生食用ブルーベリー」

遊休農地を解消しようと、地元の方々が発起して植えたブルーベリー。苦労の末、7年経っておいしい実をつけるようになりました。甘みと酸味のバランスが絶妙。眼精疲労を改善し、視力回復にも効果があると言われています。冷凍保存OK！手作りジャムにもいかがでしょうか？採れたてをお送りします。

価格／通常 350 円 /100g+送料
会員 315 円 /100g+送料
内容／ 100g 単位で 100g から 1kg まで
※100g=約 100~140 粒
発送／ 7 月上旬より注文順に発送
締切／ 8 月 9 日 (月)



山葡萄ワインを贅沢に使った 「ワインゼリー恋紫の詰め合わせ」

早川町特産の山ぶどうワイン「恋紫」を使って夏に嬉しいゼリーを作りました。山ぶどうワインの風味がそのまま味わえる贅沢な一品です。贈答用にも喜ばれます。(山ぶどうワインの風味そのままなので、お子様やアルコールの苦手な方はお控えください。)

価格／通常 1,520 円 +送料
会員 1,370 円 +送料
内容／ 12 個
発送／お中元の場合：7 月 1 日から注文順に発送
お中元でない場合：注文順に順次発送
締切／お中元の場合：7 月 12 日 (月)
お中元でない場合：随時受付



100 年以上続く伝統の野菜！ 「茂倉うりの冷汁セット」

早川町茂倉（もぐら）集落で 100 年も前から自家採取されてきた茂倉うり。形はずんぐりむっくり、肉厚で柔らかくみずみずしいのが特徴です。茂倉では、暑い夏に「冷汁」にして、ご飯や麦飯にかけて食べるのが定番。その他にも、乱切りにして味噌とおかかをまぶした「みそっころがし」も最高です。毎年好評の冷汁セットを今年も用意しました。どうぞお試しください。

価格／通常 1,800 円 +送料
会員 1,620 円 +送料
内容／茂倉うり 6 本、
えごま 100g、
味噌 100g、
青じそ、ネギ適量
発送／ 7 月下旬から
注文順に発送
締切／ 7 月 20 日 (火)



ご当地アイスの決定版！ 「雨畑茶アイスとポポアイスの詰め合わせ」

川霧が降りおいしいお茶が採れる雨畑地区の「雨畑茶」の粉を贅沢に使ったアイスと、バナナとマンゴーを足したような味わいの、幻のフルーツ「ポポ」のアイスクリームのセットです。これからの暑い季節には欠かせないアイスです。この機会にどうぞ、ご賞味ください。

価格／通常 1,800 円 +送料
会員 1,620 円 +送料
内容／ 6 個 (雨畑茶アイス 3 個
+ポポアイス 3 個)
※ 1 個の容量は 120ml
発送／注文順に順次発送
締切／なし。通年受け付けます。



送料は、全ての商品の基本料金が、普通便 740 円、クール便 950 円で関西、中国、四国、九州、東北、北海道は +100 円～420 円かかります。

～注文・お問い合わせ先は「NPO 法人 日本上流文化圏研究所(やまだらけ編集部)」まで～

TEL. 0556-45-2160 (9:00～17:30) FAX. 0556-45-2268 E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3 日経っても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払いは、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

※会員とは、早川サポーターズクラブ、及び NPO 法人日本上流文化圏研究所の会員のことです。

6/18-7/4 幻想的なホタルの光を鑑賞
「ホタル見ナイト」

普段は入れない夜の野鳥公園を、ホタルが飛び交う期間だけ特別にご案内します。野鳥公園人家の明かりが届かない、野鳥公園で、闇夜の中のホタルを楽しみましょう。



また、コウモリなどの夜に活動する生きものたちも探します。

日時：6月18日(金)～7月4日(日) 19:15～20:45

会場：南アルプス邑野鳥公園

費用：大人1,500円、小人800円(税込)

※中学生以下は保護者同伴で。また早川町内の宿泊施設をご利用の方は大人1,000円、小人500円に！

定員：20名(参加当日の18:00までに要申込)

集合：19:00までに野鳥公園駐車場

ヘルシー美里の宿泊と翌日のネイチャーガイドがセットになったお得なプランもあります。詳細はお問い合わせ下さい。

7/26-28 森にかくれ家をつくろう！早川もりもりキッズ
「夏休み子どもキャンプ」

南アルプスの麓、南アルプス邑野鳥公園でキャンプをしませんか？昆虫採集や川遊びはもちろん、生きものたちのように、森にかくれ家を作って遊びます。森の生きものたちがもっと好きになる、2泊3日のキャンプです。



日時：7月26日(月)～28日(水)

会場：南アルプス邑野鳥公園

対象：小学1年生～中学1年生

参加費：30,000円(宿泊費、食費、プログラム費、障害保険料込み)

定員：20名(7月20日までに要申込)

詳しい資料をお送りします。



問い合わせ・申し込み先

「南アルプス邑野鳥公園」

TEL & FAX 0556-48-2288

e-mail: yacho@hayakawa-eco.com

http://www.hayakawa-eco.com/yacho/

「はやかわ創造空間 COCOROTO」企画展

6/1-30 オープニング第一弾！
「はやかわの子どもたち作品展」

早川町の将来を担う町内3校の小中学校と、保育園の子供たちの作品を集めた展覧会です。

期間：6月1日(火)～30日(水) 10:00～17:00(月火は休館)

会場：はやかわ創造空間 cocoroto

企画に関するお問合せは：早川町役場振興課 ☎0556-45-2511

早川町教育委員会 ☎0556-45-2547

★「はやかわ創造空間 COCOROTO」とは★ 早川中

早川町の中心に位置するこの場所で、老朽化した施設を何か役立てる事ができないかという発想の下、町が整備しました。

町内活動家の文化芸術を紹介したり、早川町の歴史や文化を体験していただく施設として活用していきます。順次、企画展等も開催しますので、お気軽にお立ち寄り下さい。



日本一硬い木で素敵な道具を作ろう！

①奈良田の木を使った工作教室

7/3-25

早川町奈良田産の木材ミネバリ(オノオレカンバ)で作ります！

★マイ箸作り 1,000円(材料費込み)

★カトラリー作り/スプーン 1,000円(材料費込み)

★お玉作り 3,000円(材料費込み)

②幻の奈良田コマ「ずんどう作り」体験

★早川町の里山木材で昔ながらのコマを作ります。

体験料金：2,000円(材料費込み)

期間：7月3日(土)～25日(日)

10:00～17:00(月火は休館)

会場：はやかわ創造空間 cocoroto

対象：小学生以上。要予約(ギャラリーオゴンの測上照生が指導します。完成まで30～60分かかります。)

定員：4名



問い合わせ・申し込み先「早川創造空間 COCOROTO」

住所：山梨県南巨摩郡早川町保 1525 TEL: 0556-45-2770

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬萊館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL: 0556-48-2211(代)/FAX: 0556-48-2366

奈良田温泉
七不思議の湯
白根館

日本秘湯を守る会々員

〒409-2701 山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
電話 0556-48-2711 FAX 0556-48-2770
www.nukuyu.com/shirane/

毎分 1,630ℓ 湯温 52℃の掘削自噴火温泉では日本統一を誇る新湯湧出
全てのお風呂、客室風呂、給湯、シャワーに至るまで 源泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿
西山温泉 慶雲館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111 FAX 0556-48-2611 http://www.kefukan.co.jp

生で食べられる卵、豆腐、ハム・ソーセージ、京漬物、米

こだわり食材、はじめました！

「美味しい」「お手頃価格」「健康」
産直・工場直売シリーズ

匠味本舗 匠味本舗身延いいとみ直売所
スーパー岩田屋

山梨県南巨摩郡身延町飯富 1383 番地
TEL: 0556-42-2125(代)/FAX: 0556-42-2299

〒400-0606 山梨県南巨摩郡富士川町十谷 4249
電話 0556-27-0224 FAX 0556-27-0227
ファクシミリ 0556-27-0227

十谷上湯温泉
源氏の湯

日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-yu/

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル
望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1792
TEL.0556-45-3016 FAX.0556-45-2661(工場)

米の粉で作る 草餅と柏餅

緑の美しい季節。緑がおいしい季節でもあります。早川のおばあちゃん達は、この季節、おやつに草餅や柏餅を作ってふるまうのが定番。よもぎは「もちぐさ」とも呼ばれるほど。もちろん、よもぎや柏の葉は、買うのではなく取りに行きます。

今回は、赤沢の杉山美智子さんに教えていただきました。その昔、赤沢や七面山登山口では、七面山の参詣客に「草餅」を作って売っていたそう。季節を感じる素朴なお菓子、どうぞ作ってみて下さい。

■材料

〈草餅10個分〉

米の粉…250g
熱湯…500cc
よもぎ…150g (ゆでて刻んだもの)
あんこ…400g (市販でも可)

〈柏餅10個分〉

米の粉…300g
熱湯…500cc
あんこ…400g (市販でも可)
柏の葉…10枚

■作り方…●は草餅、●は柏餅、●は共通



③よくこねたら、生地を10等分し、丸くのばして、あんこを包む。



⑤沸騰している蒸し器に餅を並べ、約5分ふかす。箸をさして餅がついてこなければできあがりです。

■NEXT やまだらけ

42号特集(8月上旬お届け)

「茂倉の絆」

新倉から山道を5kmほど登ったところに、茂倉(もぐら)という集落があります。新倉と十谷(現富士川町)を結ぶ峠道の途中にある、奥深い山の中の集落です。

人も減ってお年寄りも増えて大変は大変だけど、でも、とにかく元気いっぱいなのが茂倉。相撲や三番叢など、昔ながらのお祭りや行事もちゃんと残っています。

その秘訣は何だろう。次号では、「絆」という観点から茂倉を覗いてみます。

読者の声

●(前回取り上げたデザインについて) 非常に興味のあるものでした。ここに暮らす人々の生き様のようなものと、密接に関連しているのではと推察します。(茅野市Kさん)

●(川口邸について) 当時としては斬新なデザインで、しかも地元の大工さんで作られた事に驚きがありました。(品川区Yさん)

●(川口邸について) 都会では(中略) 奇抜なデザインは珍しくないですが、大工さんの心意気を感じられるような建物は少ないです。さすが早川! (千代田区Mさん)

編集部: 今回の取材で、編集部も新たな視点で地域を見直す事ができました。他にも早川ならではの暮らしの風景をたくさん見つけました。いつか紹介できたらと思っています。

●集落の高齢化、過疎化の進む中で、都会からは1ターンしたい若者も増えています。そうした状況を踏まえ、空き家や耕作放棄地を活用して都会の若者に特産品づくり等の仕事の場を提供する企画について、品川区でシ

ンポジウム等を開催されてはいかがでしょう。(品川区Sさん)

●品川区その他の交流、高校生、福祉関係、若者夫婦などを取り込むアイデア、プランを紹介してほしい。品川区の若者をもっと参加させるプランがあるはずだ。(品川区Mさん)

編集部: 貴重なご意見ありがとうございます。品川区と早川町の交流も20年が経過し、新しい展開が必要だと感じています。地元と品川区民の双方が満足できる、新しい交流のあり方を考えていきたいですね。



話題の新作!

帝木蓬生
ソルハ

「生き抜く強さ」とは何ぞ? カブールを舞台に
帝木蓬生が初めて若者へ向け放つ渾身の一作!
四六判/356頁 ●定価1,470円(税込)

あかね書房 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-2-1
TEL:03-3263-0641 <http://www.akane-shobo.co.jp>

鉛筆の名作
「ハイユニ」

1ダース
¥1,764



文具の
月禾堂

TEL(0556)22-0445

冬に板原堰堤を見に行った時は、それほど「すごいなー」と思いませんでしたが、今回、けさ代さんにお話を聞いた後、改めて見ると、あれだけのものを人力で作ったことにびっくりしました。文化財にならなかったら、工事の苦勞も砂防堰も忘れられてしまったかもしれません。先人の苦勞を伝えているということが、文化財になった意義の一つだと思います。

山を覗けば宝の山
やまだらけ

発行元/フィールドミュージアム運営委員会

住所/山梨県南巨摩郡早川町薬袋430 〒409-2727

電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2268

ホームページ/<http://www.town.hayakawa.yamanashi.jp/fm/>